

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2026 神戸

2026.7.11 (土) 14:00 ▶ 12 (日) 9:00

みなとのもり公園
(神戸震災復興記念公園)

リレー・フォー・ライフとは

がんになっても悩むことなく希望を持って生きることができる社会を確立するために、がんと診断された患者さんとそのご家族の支援や、創薬、治療法開発を目指す研究助成のための寄付を募るチャリティ活動です。

響け神戸に! がん患者支援の声と足音



- 主催：リレー・フォー・ライフ・ジャパン神戸実行委員会 / 公益財団法人日本対がん協会
- 後援：厚生労働省 / 兵庫県 / 神戸市 / 兵庫県医師会 / 神戸市医師会 / 兵庫県健康財団 / 兵庫県赤十字血液センター / 兵庫県看護協会 / 兵庫県診療放射線技師会 / 神戸市社会福祉協議会 / 神戸観光局 / ひょうごがん患者連絡会 / コープこうべ / NHK 神戸放送局 / 神戸新聞社 / サンテレビジョン / ラジオ関西
- 協賛：神戸信用金庫 / (公財)兵庫県健康財団 / 金川刺繍(株) / (株)かもち 他各社 *いずれも予定



リレー・フォー・ライフ・ジャパン神戸

2014に始まり、今年で13年目を迎えます。夜通し歩くリレーウォーク、最長18時間に及ぶキャンドルラン。その間ステージでは演奏のバトンをつなぎます。

サバイバーズラップ

サバイバー（がん経験者）の周回からこのイベントが始まります。がん告知や闘病を乗り越えこの日を迎えられたことを、皆で祝福し、サバイバーを讃えます。

キャンドルラン / リレーウォーク

RFLの起源にちなみ、ルミナリエ（紙灯笼）の灯るコースを、一晩中走り（歩き）続けて寄付を募ります。

ミュージックバトン

オールナイトで「命のバトン」をつなぐチャリティーライブを執行します。愛と情熱の溢れるステージをご堪能ください。

あじさいの部屋

がんで旅立たれた方を偲ぶ場所です。大切な方の思い出を話してください。

がん啓発・健康相談ブース

がんに関する情報をお伝えします。看護師による健康相談もおこないます。

語らいサロン

サバイバー（がん経験者）同士あるいは支援者を交えて語り合い、絆を深める場所です。

キャンドルライトセレモニー・エンプティテーブル

キャンドルにゆらめくルミナリエ（紙灯笼）をみつめ、旅立たれた方を偲び、サバイバーさんを励ますセレモニーです。

11日	タイムテーブル
14:00-	開会式
14:20-	サバイバーズラップ
14:30-翌8:50	リレーウォーク
14:30-翌8:50	キャンドルラン（昼の部）
15:00-翌8:00	ミュージックバトン
19:10- 20:00	キャンドルライト・セレモニー
20:45-翌8:50	キャンドルラン(夜超えの部)
12日	9:00 閉会式



ご予約・詳細はこちら
info@lfl-kobe.org
https://relayforlife.jp/kobe

RFLの起源	使命 : Save Lives	寄付金 : 日本対がん協会を通じて下記の活動に使われます	
<p>1985</p>  <p>1985年、アメリカ・ワシントン州シアトル郊外において、「がん患者は24時間病氣と向き合っている」この思いを共有し、がん患者を支援しようと、一人の医師が24時間走り続け、トラックを1周するたびに友人から寄付を募り2万7千ドルを集めることができました。これが「リレー・フォー・ライフ」の始まりです。彼の名はゴールドイー・クラット、マラソンが得意な腫瘍外科医でした。日本では2007年に初めて開催され、今や全国約50か所で開催されるようになりました。「リレー・フォー・ライフ・ジャパン神戸」は2014年から始まり今年で13年目を迎えます。</p>	<p>3つのテーマ</p> <p>Celebrate : 祝う</p> <p>がんの告知を乗り越え、今を生きているサバイバーや家族などの支援者を讃え、祝福します。</p> <p>Remember : しのぶ</p> <p>がんで旅立った愛する人をしのび追悼します。また病の痛みや悲しみと向き合っている人々を救います。</p> <p>Fight Back : 立ち向かう</p> <p>がんの予防や検診を啓発し、征圧のための寄付を募り、がんで苦しむ人や悲しむ人をなくす社会をつくれます。</p>	<p>1・がんの悩み相談</p> <p>看護師や社会福祉士などによる電話相談を無料でお受けしています。</p> 	<p>2・プロジェクト未来</p> <p>がんの新しい治療法や新薬開発等の研究費の助成を行っています。</p> 
	<p>3・若手医師育成支援</p> <p>意欲ある若手医師の、海外での研修費用の一部を助成しています。</p> 	<p>4・がん検診受診率アップ</p> <p>検診の大切さを啓発し、有効ながん検診の受診率の向上を目指しています。</p> 	